

家庭医療専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 浜松医科大学地域家庭医療学講座 特任教授 井上真智子

みなさん、こんにちは。このプログラムは、静岡県の中東遠地域と呼ばれるエリアを拠点としたプログラムです。これらの地域の3市1町（磐田市、菊川市、森町、御前崎市）からなる静岡家庭医養成協議会が浜松医科大学と連携のもと、運営しています。平成22年度よりスタートし、これまでにレジデントは4期14名、フェロー3名が修了、平成29年度はレジデント6名が在籍する予定です。

静岡県中東遠地域は、人口10万人あたり医師数が130人と少なく、行政や地域住民の温かいサポートのもと、家庭医・総合診療医が十分に力を発揮できる環境です。

“ふじのくに”静岡は、世界遺産・富士山を誇るのみならず、中東遠地域で特に盛んな「茶草場農法」は世界農業遺産に認定されており、食材やお茶、自然の豊かさが特徴です。温暖な気候、のどかな土地柄、穏やかな住民気質に支えられ、比較的のんびりとした雰囲気の中、さまざまな人がともに学び、働きやすい職場です。

充実した研修指導体制として、家庭医の指導スタッフによる外来診療のプリセプティンク、振り返り、メンタリングを行っています。木曜午後にはグラウンドラウンドとして、指導医や外部講師によるレクチャー、ワークショップ、多職種学習会を開催しています。ミシガン大学家庭医療学講座との連携により、教育、研究サポートを受けることができます。

当プログラムは、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門研修プログラムとして認定されており、修了すると家庭医療専門医試験の受験資格が得られます。また、日本専門医機構の総合診療専門研修にも対応しています。家庭医療、総合診療についてよく知らないという人も、プログラムで仲間とともに一から学ぶことができます。

このように豊かな環境の静岡で家庭医として活躍したい方、ぜひ気軽に見学にいらしてください！



2 目的

“子宮の中から天国まで”をモットーにグループで成人・高齢者医療、在宅医療、救急医療、小児医療、妊婦健診・分娩を含めた全科診療を行う地域医療に貢献できる家庭医療専門医になることです。

3 目標

1. 包括的全科診療
家族ぐるみのかかりつけ医（家庭医）として、全科診療（小児・成人・女性・高齢者のケアを含む）ができる。
2. 患者中心性の追求
患者中心の医療の方法論をふまえ、誰もが安心してかけられる満足度の高い診療ができる。
3. 地域のニーズに応える在宅診療
最期まで患者・家族の人生に寄り添う在宅ケア・在宅ホスピスができる。
4. ハイレベルな家庭医療チーム
グループ診療、協同学習、多職種協働により、ハイレベルなチーム医療ができる。
5. ヘルスメンテナンス／ヘルスプロモーションと Population health
地域住民全体の健康状態の向上のため、すべての年齢に応じたヘルスメンテナンス・

ヘルスプロモーションができる。

6. 活発なリサーチ活動

家庭医療学の発展のため、リサーチマインドを持って研さんできる。

4 特徴

継続診療の醍醐味を経験し、家庭医としてのアイデンティティを確立するため、1年次は週一回のHalf-day back、2年次はOne-day backとして、家庭医療クリニック（菊川または森町）で継続診療を行います。

診療終了後は、指導医やレジデント仲間との振り返りを行い、家庭医として必須の知識、スキル、態度を学びます。

1. 家庭医療外来指導の徹底

◆プリセプター室（指導室）を診察室の隣に設置しています。

◆外来患者1人ずつの指導を、フリーのプリセプター（指導医）が行いますので、着実に幅広くレベルの高い診療能力を持つ家庭医が育っています。かかりつけ医の観点から、疾患診断・治療のみでなく、予防接種・健診等を含めたヘルスマネジメント・ヘルスプロモーションにも配慮するよう指導します。

2. 充実した産婦人科研修

◆妊婦検診、正常分娩の取り扱いができるようになることを目指します。また、家庭医として必要なウイメンズヘルスの知識やスキルを身につけます。

◆浜松医大寄附講座「産婦人科家庭医療学」特任教授が婦人科診療や分娩の指導をします。

3. オリジナル研究プロジェクト

◆4年間を通して、オリジナルな研究プロジェクトを実施します。そのために必要な知識を身につけ、メンタリングを受けながら、研究計画の立案・実施、データ収集、データ分析・まとめ、学会発表、論文発表を経験します。

4. グラウンドラウンド（GR）

◆木曜日の午後にはレクチャーやセミナー、ワークショップを開催しています。レジデント、指導医のみならず、多職種での学習会も行います。また、気づきや学びを深めるため、ポートフォリオの検討や振り返りをレジデント全員で行います。

5. アドバイザー制度

◆一人につき一人の指導医がアドバイザーとなり、定期的にあドバイザー・ミーティングを行って、家庭医としての成長をともに確認していきます。

5 研修カリキュラム

日本プライマリ・ケア連合学会 改訂後期研修プログラムに準拠

1. 総合診療 I（必修1年次：1ヶ月、3年次：選択、4年次：12ヶ月）

1年次の4月の1か月間は家庭医療における基本的な視点、技術、態度をオリエンテーションとして学びます。

4年次の1年間を通して家庭医療クリニックで外来・在宅診療を行います。家庭医療専攻研修の仕上げの年として、外来では子どもから女性、高齢者まであらゆる年代のあらゆる健康問題のケアを行い、さらに在宅診療、緩和ケアの経験を積みます。地域ケアとして、地域の校医・嘱託医活動や、population health の課題に取り組みます。



在宅ホスピスでのレジデント指導

2. 総合診療Ⅱ（必修 1 年次：3 ヶ月、2 年次：3 ヶ月）
診療科にとらわれず広い範囲の病棟・外来診療、救急医療を経験します。
3. 内科研修（必修 1・2 年次計 6 ヶ月）
家庭医療でよく遭遇する疾患にフォーカスを当てた内科領域を集中的に研修します。
超音波検査や上部内視鏡検査の研修もアレンジ可能です。
4. 救急研修（必修 1 年次 3 ヶ月）
救急科専門医の指導のもと多岐にわたる救急医療に携わります。各医療圏の救命救急機能の中核を担う病院です。
5. 小児科研修（必修 1 年次 2 ヶ月、2 年次 2 ヶ月）
一般小児、小児救急、NICU の研修を行います。
小児科ローテーション中の救急外来では、主として、小児救急を経験します。
6. 産婦人科研修（必修 2 年次 2 ヶ月）
妊婦健診、正常分娩の管理ができるようになることを目指します。また、家庭医として必要なウイメンズヘルスの基本的な知識やスキルを身につけます。
指導は、浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座の教員が行います。
7. 整形外科研修（必修 2 年次 2 ヶ月）
基本的な診察手技、プライマリ・ケアでよく遭遇する疾患の診断・マネジメントについて学びます。
8. 緩和ケア研修（必修 3 年次 2 ヶ月）
緩和ケアの知識、スキル、態度を学び、家庭医として在宅緩和ケアを実践できる事を目指します。
9. 選択①（3 年次 9 ヶ月）
ブロック研修。総合診療Ⅰ・Ⅱおよび内科、救急、小児科、産婦人科、整形外科、緩和ケア、外科、その他の中から月単位で選ぶことができます。ここで総合診療Ⅰを選択した場合は、週 8 コマをクリニックで研修し、残りの 2 コマを内科、救急、小児科、産婦人科、整形外科、緩和ケア、外科、その他の中から選択します。
10. 精神科研修（必修 4 年次 週 2 コマ×3 ヶ月）
週 1 日の外来・病棟研修を行い、うつ病、パニック障害などよく遭遇する精神疾患の診断・マネジメントと、継続的な精神疾患のケアについて学びます。
11. 皮膚科研修（必修 4 年次 週 2 コマ×3 ヶ月）
菊川市立総合病院の皮膚科にて、週 2 コマの外来を行い、よく遭遇する皮膚疾患の診断・マネジメントを学びます。
12. 泌尿器科研修（必修 4 年次 週 2 コマ×2 ヶ月）
週 2 コマの外来を行い、よく遭遇する泌尿器疾患の診断・マネジメントを学びます。
13. 選択②（4 年次 週 2 コマ×4 ヶ月）
4 年次に、希望する診療科で週 2 コマの外来研修を行うことができます。診療科は、眼科、放射線科、耳鼻科、形成外科、リウマチ科、エコー、内視鏡、小児科外来、外科外来、整形外科外来、産婦人科外来、その他から複数選択できます。

6 研修例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	ローテーション	総診Ⅰ	総合診療Ⅱ			小児科		救急			内科		
	クリニック	Half-day back											
2年目	ローテーション	産婦人科	総診Ⅱ			小児科		整形外科		内科	内科	内科	
	クリニック	One-day back											
3年目	ローテーション	外科	緩和ケア		選択①								
	クリニック	1-2 days back			1-2 days back または総合診療Ⅰ								
4年目	クリニック	総合診療Ⅰ											
	専門科外来研修	精神科			皮膚科			泌尿器科		選択②			

7 研修病院群

浜松医科大学医学部附属病院

磐田市立総合病院

菊川市立総合病院

公立森町病院

市立御前崎総合病院

中東遠総合医療センター

菊川市家庭医療センター

森町家庭医療クリニック

御前崎市家庭医療センター(建設中)

その他の連携施設

藤枝市立総合病院、浜松医療センター、総合病院聖隷浜松病院、総合病院聖隷三方原病院、総合病院南生協病院、三島共立病院、坂の上ファミリークリニック、浜松佐藤町診療所

8 研修期間

4年間(48ヶ月)